

事業所名

多機能型事業所 放課後クラブぴあ／療育ルームいろは

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R6

年

12月

1日

法人（事業所）理念		全従業員（ご本人、ご家族、職員、事業にかかわるすべての人）の物・心両面、幸福を追求するとともに、事業を通じて社会に貢献する。							
支援方針		ライフステージを通じて、一貫した個別支援の実現と、ご本人が自分の希望をかなえて行けるような人生を送るため、「住む」「働く」「余暇」を支える包括的なサービスの提供とシステムの構築を目指す。							
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	※個別対応・要相談
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や発達段階、就学先を見据えて、身辺自立課題をアセスメントやニーズに合わせて個別に支援を行う。 事業所内を構造化し、障がい特性に合った活動に安心して取り組める環境調整を行っている。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚特性に配慮した環境調整を行っている。 遊びや制作などを通して、体を動かす活動や手指を使った課題学習、道具を使う練習などを本人のスキルに合わせてスモールステップで個別に行う。 ご本人の好む感覚を用い、リラックスしたり、余暇を充実させたりする。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚支援（スケジュール、ワークシステム、手順書など）を個別に用い、ご本人にとってわかりやすい情報提供を行うとともに、自立的な行動に結びつけるような課題設定を行う。 行動障害の予防及び適切行動への対応支援を行う。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションカードやPECSカードを用い、言葉を補う相手を意識した自発的なコミュニケーションができるよう支援を行う。 活動の各所に選択や自己決定の場面を設定し、意思決定支援を行う。 障がい特性や年齢に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心して過ごせるように、必要に応じてマンツーマン対応などを行う。 まずは大人と、次は子ども同士でと発展させていながら、遊びや活動を展開させていく。 個別セッションを通して、適切な言動や社会のルール、就学への見通しなどについて学ぶ機会を設ける。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問、支援会議、就園先訪問などを希望に応じて行う。 個別相談に応じる。 ゆいねっとStudy倶楽部（保護者の勉強会）の開催 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 移行先や関係機関との連携 移行時の引継ぎ、アセスメント資料の提供 移行のための会議への参加 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携 他の福祉サービスとの連携 教育との連携 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> TEACCHプログラム研修・PECS研修・ソーシャルストーリー研修 仕事の基本研修・自閉症についての各種研修・BMC研修など 虐待防止研修、強度行動障害支援者研修・行動援護支援者研修など 		
主な行事等		季節の製作（書初め・お正月・節分・ひな祭り・子どもの日・七夕・ハロウィン・クリスマスなど）その他（スタンプ、ステンシル、スライム、夏まつりごっこ、買い物ごっこなど）おやつ作り（サンドイッチ、パフェ、クリームソーダ、かき氷、プリンアラモード、フルーチェ、クリスマスケーキなど）							

事業所名

多機能型事業所 放課後クラブぴあ／療育ルームいろは

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R6

年

12月

1日

法人（事業所）理念		全従業員（ご本人、ご家族、職員、事業にかかわるすべての人）の物・心両面、幸福を追求するとともに、事業を通じて社会に貢献する。						
支援方針		ライフステージを通じて、一貫した個別支援の実現と、ご本人が自分の希望をかなえて行けるような人生を送るため、「住む」「働く」「余暇」を支える包括的なサービスの提供とシステムの構築を目指す。						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし	※個別対応・要相談
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や発達段階、将来の生活を見据えて、身辺自立に向けた課題や家事体験などをアセスメントやニーズに合わせて個別に支援を行う。 ご本人が自分の心身の状態や気持ちを理解できるよう、様々な教材を個別に準備して取り組む。 事業所内を構造化し、障がい特性に合った活動に安心して取り組める環境調整を行っている。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚特性に配慮した環境調整を行っている。 遊びや制作などを通して、体を動かす活動や手指を使った課題学習、道具を使う練習などを本人のスキルに合わせてスモールステップで個別に行う。 ご本人の好む感覚を用い、リラックスしたり、余暇を充実させたりする。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚支援（スケジュール、ワークシステム、手順書など）を個別に用い、ご本人にとってわかりやすい情報提供を行うとともに、自立的な行動に結びつけるような課題設定を行う。 行動障害の予防及び適切行動への対応支援を行う。 仕事と報酬の仕組みについて、総合的に学べるよう個別に支援する。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションカードやPECSカードを用い、言葉に頼らない相手を意識した自発的なコミュニケーションができるよう支援を行う。 活動の各所に選択や自己決定の場面を設定し、意思決定支援を行う。 障がい特性や年齢に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心して過ごせるように、必要に応じてマンツーマン対応などを行う。 まずは大人と、次は子ども同士でと発展させていながら、遊びや活動を展開させていく。 個別SSTを通して、適切な言動や社会のルール、心身の成長に伴う自己理解などについて学ぶ機会を設ける。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問、支援会議、学校訪問などを希望に応じて行う。 個別相談に応じる。 ゆいねっとStudy倶楽部（保護者の勉強会）の開催 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 移行先や関係機関との連携 移行時の引継ぎ、アセスメント資料の提供 移行のための会議への参加 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携 他の福祉サービスとの連携 教育との連携 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> TEACCHプログラム研修・PECS研修・ソーシャルストーリー研修 仕事の基本研修・自閉症についての各種研修・BMC研修など 虐待防止研修、強度行動障害支援者研修・行動援護支援者研修など 	
主な行事等		季節の製作（書初め・お正月・節分・ひな祭り・子どもの日・七夕・ハロウィン・クリスマスなど）その他（スタンプ、ステンシル、スライム、夏まつりごっこ、買い物ごっこなど）おやつ作り（クッキー、サンドイッチ、パフェ、クリームソーダ、かき氷、プリンアラモード、フルーチェ、チョコフォンデュ、クリスマスケーキなど）個別実習（買い物実習、調理実習、おつかい、リサイクル作業、栽培など）						

事業所名

多機能型事業所 放課後クラブぴあ／療育ルームいろは

支援プログラム（保育所等訪問支援）

作成日

R6

年

12月

1日

法人（事業所）理念	全従業員（ご本人、ご家族、職員、事業にかかわるすべての人）の物・心両面、幸福を追求するとともに、事業を通じて社会に貢献する。					
支援方針	ライフステージを通じて、一貫した個別支援の実現と、ご本人が自分の希望をかなえて行けるような人生を送るため、「住む」「働く」「余暇」を支える包括的なサービスの提供とシステムの構築を目指す。					
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や発達段階を見据えて、本人や保護者のニーズと支援先の環境に合わせて個別に支援を行う。 活動に安心して取り組めるよう、障がい特性に配慮した環境調整を行う。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚特性に配慮して適宜介入する。 遊びや運動、制作などを通して、体を動かす活動や手指を使った課題学習、道具を使う学習など、本人のスキルに合わせて個別に支援する。 疲れに配慮し、声かけを行う。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ご本人にとってわかりやすい情報提供を行う。 担任、交流担任、介助員と情報共有を行う。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときにヘルプが出しやすいよう、事前に伝えておく。 ご本人にわかるよう、指差し、短い言葉、モデルなどで伝える。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心して過ごせるように、マンツーマン対応を行う。 他児との交流を見守る。 放デイ利用時に個別に話を聞く時間を設ける。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問、支援会議、就園先訪問などを希望に応じて行う。 個別相談に応じる。 ゆいねっとStudy倶楽部（保護者の勉強会）の開催 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 移行先や関係機関との連携 移行時の引継ぎ、アセスメント資料の提供 移行のための会議への参加 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携 他の福祉サービスとの連携 教育との連携 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> TEACCHプログラム研修・PECS研修・ソーシャルストーリー研修 仕事の基本研修・自閉症についての各種研修・BMC研修など 虐待防止研修、強度行動障害支援者研修・行動援護支援者研修など 		
主な行事等	訪問先に準じる					